

## 緑の担い手

# 「緑の雇用」研修 を終了して

美和木材協同組合

平野 武雄

本研修に参加した当初は、果たして自分に3年間という長期にわたる研修を、無事にやり抜くことが出来るのか、不安に感じていました。実際のところ、研修では慣れない重機の操作が特に難しく感じ、その中でも、間違った操作により事故を起こしてしまわないようにと、大変緊張したことを記憶しています。

しかし、講師の先生方による真剣な中にも親切でユーモアのある御指導は、すごく充実しており、事故を起こさないためには、「始業前点検を確実に正しい、周囲確認を徹底する」、「はつきりと相手に伝わる合図をする」など、教えていただいた大切なポイントをしっかりと守っていききたいと思います。

今回、3年間の研修を終了して改めて思うことは、林業という仕事はやはり厳しい仕事であり、体力も知識も技術も高い意識を持って、日々切磋琢磨していかなければならない

プロフェッショナルな仕事だということ。その意味でいうと、3年間の研修はあくまで最初のプロローグであり、これからがいよいよ本番になるのだなと思います。

また、教えて頂いたことを基に頑張るのは勿論ですが、これから入社してくる後輩に対しては、今度は自分が教えていく責任が出てきます。このため、今まで以上に真剣に業務に取り組み、正しい知識と技術をできる範囲で継承していきたいと思えます。

毎日が厳しい自然との闘いでもあります。自分が負けないよう、今後も仲間や同期と協力し合いながら仕事に臨みたいと思います。

